

「ペットボトルリサイクルの在り方検討会」の実施要領

平成 29 年 4 月 11 日

1. 開催趣旨

平成 28 年 5 月の第 18 回産構審・中環審合同会合で取りまとめられた「容器包装リサイクル制度の施行状況の評価・検討に関する報告書」(以下、「報告書」)の【(2)ペットボトル循環利用の在り方】(27 ページ、6. その他)において、「ペットボトル等の一部の容器包装については、水平リサイクルの取組が進められている現状を踏まえ、資源の有効利用や再生材の適正処理の確保などの観点から、国内循環産業を育成し、安定的な国内循環を推進していくべきである。近年指定法人において有償で取引されている廃ペットボトルについては、指定法人が行う再商品化の管理業務について素材産業としてリサイクルを推進するために相応しい制度の在り方について、指定法人において検討することが必要である」とされたことから、検討するにあたって、有識者、関係者の方から専門的観点から幅広くご意見を頂きつつ、検討を行うことを目的とする。

2. 検討事項

本検討会は、ペットボトルリサイクルの在り方に関して、以下の事項等について検討を行う。

- (1) 国内循環産業の育成、安定的な国内循環の推進
- (2) 素材産業としてリサイクルを推進するために相応しい制度の在り方

3. 検討会の構成

検討会の構成については別紙のとおり。

4. 検討会の運営

- (1) 検討会の運営については、次のとおりとする。
 - 1) 検討会は原則公開とする。
 - 2) 会議の資料は、会議終了後協会ホームページにて公開する。
 - 3) 議事録は、会議終了後、委員の了解を得た上で協会ホームページにて公開する。
- (2) 委員長は、上記により難い場合が生じた時には、検討会の了承を得て、その取扱いを決定するものとする。

5. その他

検討会の庶務は公益財団法人日本容器包装リサイクル協会 PET ボトル事業部が行う。

以上

検討会の構成

(1) 委員 (委員長、委員5名の合計6名) (敬称略)

区分	所属名	役職・部署	氏名	備考
有識者	上智大学大学院地球 環境学研究科	教授	織 朱實	委員長
	東京大学大学院工学系 研究科都市工学専攻	講師	中谷 隼	
	杏林大学総合政策学部	准教授	斉藤 崇	
市民・消費者	NPO 法人持続可能な社 会をつくる元気ネット	事務局長	鬼沢 良子	
市町村	公益社団法人 全国都市清掃会議	専務理事	佐々木 五郎	
特定事業者	PETボトルリサイクル 推進協議会	会長	古塩 秀一	

(2) 主務省

(3) オブザーバー (敬称略)

区分	企業・団体名	役職・部署	氏名	備考
再生処理 事業者	ジャパンテック(株)	代表取締役 社長	古澤 栄一	
	(株)エフピコ	リサイクル部 ジェネラルマ ネージャー	兼田 英寿	
	ウツミリサイクルシステム ズ(株)	代表取締役 社長	内海 正顯	
再商品化製 品利用業界	日本化学繊維協会	技術グルー プ長	大松沢 明宏	
	PETトレイ協議会	会長補佐	佐多 永行	
	一般社団法人 全国清涼飲料工業会	専務理事	新田 久	